

委員会評価報告書

事業名	キャリア教育推進事業（令和5年度実施）				
担当課・室・係	学校教育課・学校教育係				
事業の目的	子どもたちが、自立した社会人・職業人としてたくましく社会を生き抜くために、社会的・職業的自立の基礎となる能力や態度を育て、キャリア発達を促すことを目的とする。				
事業の概要	<p>キャリア教育コーディネーターを市教育委員会に配置し、地場企業を活用した職場体験、地域人材（はぐくみ先生）を招いての職業講話、職業学習（匠のWAZA）、郷土学など各学校の取組支援、ふるさと応援基金を財源として、市出身や市在住で活躍されている方々（生き方の先輩）を、中学校に特別講師として招聘し、「郷土の先輩特別授業」を行う。</p> <p>また、各学校のキャリア教育担当者と連携し、全体計画、学年別指導計画を教育課程に位置付け、教育活動全体においてキャリア教育を推進する。</p>				
事業結果に対する評価	A きわめて良好	<input checked="" type="checkbox"/> B 良 好	C おおむね適正	D 問題がある	E かなり問題
<p>【問題点など】</p> <p>それぞれの学校の取り組みが評価でき、生きる力という子どもたちのキャリアが間違いなく育まれていると評価する。課題として、学校ごとの熱量の差や協力者の確保、コーディネーターとの連携や教職員のモチベーション維持に一抹の不安を感じる。</p>					
事業の今後の方向性	1 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 継 続	3 改 善	4 縮 小	5 休 止・廃 止
<p>【提言など】</p> <p>教育と社会や地域とのつながり、価値観、多様性、郷土愛、学習や学びを生活につなげる、地域と世界を互換することなどを意識しながら事業の継続、深化に努めていただくことで、将来的に多くの子どもが本市に定住することを望む。本事業は地域の協力も不可欠であるため、地域に対してのPRを積極的に取り組むこと。職場体験などは地域の枠を超えて実施する等、子どもの選択肢を増やすこと。また、ケーブルテレビ等で市民全体にも伝わるような広報を検討していただきたい。</p>					